

带状疱疹予防接種費用の一部助成について（任意接種）

带状疱疹予防接種費用の一部を助成しています。この助成は予防接種法に基づかない「任意接種」の助成となります。このチラシをよく読み、かかりつけ医師等にご相談のうえ、予防接種による効果や副反応等を十分にご理解頂いたうえで、接種の判断をしてください。



令和7年度から、65歳の高齢者等を対象として、带状疱疹予防接種は定期接種化（B類疾病）されました。（定期接種対象者には3月末に案内を送付しています）。

带状疱疹とは



带状疱疹は、過去に水痘にかかった時に体の中に潜伏した、水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経支配領域に沿って、典型的には体の左右どちらかに帯状に、時に痛みを伴う水疱が出現する病気です。合併症の一つに皮膚の症状が治った後にも痛みが残る「带状疱疹後神経痛」があり（50歳以上の約2割の方と言われています）、日常生活に支障をきたすこともあります。带状疱疹は、70歳代で発症する方が最も多くなっています。

対 象 者 陸別町に住民票があり、接種日に満50歳以上の方（定期接種対象者を除く）

ワクチンの種類・費用 带状疱疹ワクチンは2種類あり、接種方法や回数等が異なります。

	生ワクチン（ビケン）	組換えワクチン（シングリックス）
個人負担金	4,100 円 *接種費用 8,300 円のうち町が 4,200 円を助成します	10,400 円×2回 *接種費用 20,800 円×2回のうち町が 10,400 円×2回を助成します
接種回数	1 回	2 回
接種方法	皮下に接種	筋肉内に接種
スケジュール	—	通常、2か月以上の間隔をおいて2回接種（遅くとも6か月後までに接種）
接種できない方	病気や治療によって、免疫が低下している方は接種できません。	—
接種に注意が必要な方	輸血やガンマグロブリンの注射を受けた方は治療後3か月以上、大量ガンマグロブリン療法を受けた方は、治療後6か月以上おいて接種しましょう。	筋肉内に接種をするため、血小板減少症や凝固障害を有する方、抗凝固療法を実施されている方は、注意が必要です。
効 果	接種後1年時点	6割程度の予防効果
	接種後5年時点	4割程度の予防効果
	接種後10年時点	—
	*合併症の一つである带状疱疹後神経痛に対する効果は、接種後3年時点で、生ワクチンは6割程度、組み替えワクチンは9割以上と報告されています。	

副反応の 発現割合	70%以上	—	70%以上	注射部位の疼痛
	30%以上	注射部位の発赤	30%以上	注射部位の発赤、筋肉痛、 疲労
	10%以上	注射部位の掻痒感・熱 感・腫脹・疼痛・硬結	10%以上	注射部位の腫れ、胃腸症 状、悪寒、発熱
	1%以上	発疹、倦怠感	1%以上	痒み、倦怠感、全身疼痛

接種場所

陸別町国民健康保険関寛斎診療所

※長期入院等やむを得ない場合は、他の医療機関での接種が可能です。

接種の流れ

①陸別町国民健康保険関寛斎診療所（☎0156-27-2135）に予約をします。（診療時間内に接種できます。）事前に診療所へ予診票と接種説明書を取りに行き、説明書を十分にお読みのうえ、接種に備えてください。

②予防接種

持ち物は「予診票」（予め記入してご持参ください）、「身分証明書」（免許証やマイナンバーカード等）、「保険証」です。

③個人負担金をお支払いください。

※他の医療機関で接種された場合は、領収書と印鑑、通帳（口座がわかるもの）をお持ちの上、速やかに保健福祉センター窓口で払い戻しの手続きをしてください（接種費用は医療機関によって異なります。助成額は接種費用の1/2の額です。（ただし診療所で接種した場合の助成額を上限とします）

その他

助成制度の利用はどちらかのワクチンで生涯に一度限りです。



現在のところでは、带状疱疹予防接種を任意で接種した場合、定期接種の対象者からは除外されます。ご留意のうえ、接種してください。

Q. 過去に水痘生ワクチンを接種したことがあります。再度、水痘生ワクチンを接種してもいいですか？

A. 今現在では1回の接種とされています。（带状疱疹ワクチンも同様）

Q. 带状疱疹に罹ったことがありますが、ワクチンは接種できますか？

A. 症状が落ち着いたら接種可能とされていますが、かかりつけ医に相談のうえで接種することをお勧めします。



Q. 以前に水痘生ワクチンを接種したことがあります。带状疱疹ワクチンを接種してもいいですか？

A. 今現在ではデータがありません。

接種について、かかりつけ医等にご相談ください。相談したうえで接種する場合は、助成の対象となります。

Q. 過去に带状疱疹ワクチンを接種をしたのか記憶が曖昧です。

A. お手数ですが、お心当たりのある医療機関にお問合せください。（個人情報のため、こちらでお調べできません）。

*生ワクチンは平成28年、組み換えワクチンは令和2年1月に認可されました。